



2021年9月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月12日

上場会社名 M - クラウドワークス
 コード番号 3900 URL <https://crowdworks.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田浩一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 月井 貴紹

TEL 03-6450-2926

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第1四半期の連結業績(2020年10月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第1四半期	1,818	22.4	107		117		91	
2020年9月期第1四半期	2,342	15.5	21		4		13	

(注) 包括利益 2021年9月期第1四半期 78百万円 (%) 2020年9月期第1四半期 12百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第1四半期	6.00	5.89
2020年9月期第1四半期	0.87	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第1四半期	5,205	3,206	61.6
2020年9月期	5,108	3,127	61.2

(参考) 自己資本 2021年9月期第1四半期 3,205百万円 2020年9月期 3,126百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期		0.00		0.00	0.00
2021年9月期					
2021年9月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年9月期の連結業績予想(2020年10月1日～2021年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計) 通期									

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社は、事業の選択と集中の方針のもと、コア事業であるマッチング事業への集中と一層の生産性向上を図るべく、2021年1月1日付で連結子会社である株式会社ビズアシ・株式会社gravieeを吸収合併し、2021年9月期第2四半期より非連結決算へと移行いたします。これにより当社は新たに2021年9月期の個別業績予想を公表いたしました。2021年9月期の個別業績予想につきましては、本日公表の「非連結決算への移行に伴う個別業績予想の公表および営業利益の新予想値に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 有
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年9月期1Q	15,225,160 株	2020年9月期	15,225,160 株
期末自己株式数	2021年9月期1Q	86 株	2020年9月期	86 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年9月期1Q	15,225,074 株	2020年9月期1Q	15,210,112 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11
3. その他	12
継続企業の前提に関する重要事象等	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは『働き方革命～世界で最もたくさんの人に報酬を届ける会社になる』というビジョンを掲げ、創業以来、インターネットを活用して個人が報酬を得るための仕組みであるクラウドソーシングを中心としたオンライン人材マッチング事業を推進しております。近年、政府の掲げる「一億総活躍社会実現」における最大のテーマ「働き方改革」に沿って、潜在労働力となっている女性やシニア、障がい者などの活躍の機会拡大、会社員の副業・兼業など、企業に勤める以外の働く選択肢が広がり、個人の働き方への価値観は多様化しつつあります。また、2019年4月より「働き方改革関連法」が順次施行され、2020年4月には同一労働同一賃金の施行、2021年4月の「高年齢者雇用安定法」の改正による70歳までの雇用延長など、従来の雇用制度を見直す動きが広がっております。

こうした流れを受け、従来の枠にとらわれない形で人材獲得を進めたい企業が増加しているほか、日本を代表する大企業も自社の従業員の収入増加、モチベーションの向上、優秀な人材の確保・定着などを目的として、従業員の副業・兼業を容認する動きが広がっております。また、昨今の新型コロナウイルスの感染拡大を受け、企業規模・業種を問わず多くの企業において在宅勤務やテレワークを導入・活用する動きが広がり、新しい働き方・新しい生活様式（ニューノーマル）に対応していく動きが社会全体で広がりつつあります。これにより、外部の専門人材（フリーランス・副業者・兼業者）の受け入れやインターネットを介して働くクラウドワーカーの活用など、今後の企業の人材調達の方法が変化し、当社グループを取り巻く市場にとって追い風となっております。

このような環境のもと、当社グループは、コア事業であるマッチング事業への投資を集中させ、非コア事業である受託事業を売却・撤退することにより、成長率の向上と生産性の向上による収益性の増加を図ってきました。その結果、当第1四半期連結累計期間においては、当社グループのサービスを通じた取引額の総額である総契約額、利益の源泉である売上総利益は前年同期比20%以上の成長を実現し、同時に当第1四半期連結累計期間で1億円を超える営業黒字を実現いたしました。エンジニア・デザイナー等の人材が不足する企業からの需要は高く、インターネットを介したフリーランスやクラウドワーカーの活用は今後も増加する見込みであり、引き続き成長が見込まれます。また、コロナ禍において多くの企業でテレワークの導入や業務のデジタル化が進み、オンラインによる事務アシスタントの需要も増加し、高単価×高継続のハイエンド人材マッチングが好調であります。ビジネス向けSaaS事業においては、フリーランスや社内人材の稼働管理を効率的に行うSaaSサービスであるクラウドログの導入契約社数が順調に伸び、引き続き先行投資を継続していく予定です。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高1,818,033千円（前年同期比22.4%減）、営業利益は107,813千円（前年同期は営業損失21,020千円）、経常利益は117,573千円（前年同期は経常損失4,413千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は91,407千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失13,263千円）となりました。なお、売上高については、前連結会計年度に非コア事業である受託事業を売却した影響により、前年同期比減少となっております。

報告セグメントについては、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントを変更しており、以下の前年同期比数値については、変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

セグメント業績については、次のとおりであります。

① マッチング事業

当第1四半期連結累計期間のマッチング事業においては、選択と集中による投資継続と生産性向上プロジェクトの実施により、総契約額・売上高・売上総利益については前年同期比及び期初開示予想に対し上振れて進捗しております。販管費については、クライアント数ならびに発注量の拡大のため、広告効果の最適化を行いながら、WEB広告による継続的な投資を実施し、当連結会計年度の計画に沿って1.6億円の投資を実行しました。広告宣伝費以外の費用については、生産性向上に取り組み、トップライン成長率の改善と費用の削減が前年同期比及び期初開示予想以上に進展し営業黒字を達成しました。この結果、取引額の総額を示す総契約額は3,656,652千円（前年同期比20.1%増）、売上高は1,795,317千円（前年同期比16.9%増）、売上総利益は798,292千円（前年同期比22.2%増）、セグメント利益は155,865千円（前年同期のセグメント損失は27,207千円）となりました。

② ビジネス向けSaaS事業

当第1四半期連結累計期間のビジネス向けSaaS事業においては、企業向けの業務管理ツールの導入が過去最高を記録し、順調に顧客を拡大しております。新規契約社数の増加による順調な成長により、さらなる成長拡大に向けたマーケティングおよび新機能開発やサービス改善のための先行投資を67,764千円実施しております。このため、売上高は22,517千円（前年同期比38.9%増）となり、セグメント損失は48,234千円（前年同期のセグメント損失は6,762千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は5,205,811千円となり、前連結会計年度末に比べ96,895千円増加しました。総資産の増加は事業拡大に伴う流動資産の増加によるものであります。流動資産は4,852,812千円となり、主な内訳は、現金及び預金が3,481,088千円、売掛金が617,870千円であります。固定資産は352,998千円となり、主な内訳は有形固定資産が80,235千円、無形固定資産が48,446千円、投資有価証券78,349千円であります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は1,999,674千円となり、前連結会計年度末に比べ17,984千円増加となりました。負債の増加は事業拡大に伴う流動負債の増加によるものであります。流動負債は1,966,660千円となり、主な内訳は、預り金が1,102,938千円、未払金が469,054千円であります。固定負債は33,014千円となっております。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は3,206,136千円となり、前連結会計年度末に比べ78,910千円増加しました。純資産の増加は親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

企業の人材不足と多様な働き方を求める社会的機運の高まりにより、国内のオンライン人材マッチング市場は今後も中長期的に拡大が続くと想定されます。2021年9月期はマッチング事業への投資集中・投資継続を図りながら、生産性向上と事業構造改革に取り組み、通期黒字化を目指す方針です。

また、当社グループは2020年9月期にグループ企業である株式会社ブレインパートナーを吸収合併し、受託事業の子会社2社を売却・撤退、2021年1月には株式会社ビズアシ、株式会社gravieeの吸収合併を行うことで、単体経営に移行いたします。この結果、連結決算は第1四半期までとなり、第2四半期以降は非連結決算となります。これにより、2020年11月13日に公表した連結業績予想を、個別業績予想に変更いたします。

業績予想に関する説明は以下のとおりです。

(当初連結業績予想における説明)

当第1四半期連結累計期間においてマッチング事業への投資集中による順調な成長と生産性向上の取り組みが奏功し、1億円を超える営業黒字を計上することとなったことから、上半期及び通期の営業利益の予想を1億円以上に上方修正いたしました。これにより、当初連結業績予想における2021年9月期業績につきましては、総契約額134.8億円～140.5億円（△11.4%～△7.7%成長）、売上高70.0億円～75.0億円（△19.8%～△14.0%成長）、売上総利益30.7億円～32.1億円（△7.5%～△3.3%成長）、営業利益については1億円以上となります。

セグメント別の業績につきましては、2021年9月期のマッチング事業の総契約額が134.1億円～139.8億円（+5.0%～+10%成長）、売上高69.3億円～74.3億円（+10.0%～+18.0%成長）、売上総利益30.2億円～31.6億円（+10.0%～+15.0%成長）、営業利益は3億円以上へ上方修正いたします。マッチング事業の一層の生産性向上に取り組み、利益の最大化を目指しつつ、生み出した利益の範囲内で新規事業への再投資を行うことで、持続的な成長を図るための体制づくりを推し進めます。

また、ビジネス向けSaaS事業およびその他の新規事業においては、将来の成長に向けた投資として積極的に取り組む方針であり、全社の通期黒字化達成の範囲内で投資を実行してまいります。これにより、総契約額・売上高は0.7億円、売上総利益は0.5億円、営業利益は△2億円となる見込みです。

(新たに開示した個別業績予想について)

当社グループは第2四半期以降、非連結決算に移行するため、以下の通り個別業績予想を公表いたしました。これにより、当初連結業績予想は第2四半期以降個別業績予想に集約され、上方修正した営業利益を個別業績で引き継ぐ形となります。なお、第1四半期まで連結子会社であった株式会社ビズアシと株式会社gravieeを吸収合併することにより、第2四半期以降に抱合せ株式消滅差損益を特別損益項目として計上する見込みです。

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株あたり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
第2四半期累計	2,965 ～3,119	9.5 ～15.2	100	—	—	—	—	—	—	—
通期	6,704 ～7,208	22.8 ～32.1	100	—	—	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 2020年9月期 第2四半期累計	2,708	—	△99	—	△50	—	△88	—	△5.8	—
2020年9月期 通期	5,458	—	△364	—	△331	—	△105	—	△6.9	—

(その他)

新型コロナウイルスの影響につきましては、2021年1月に緊急事態宣言が再発令され、世界的な感染長期化に伴う景気影響など不確実な状況は続いておりますが、現時点で今後の方針および業績見通しに変更はありません。

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社において判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合がございます。今後の業績の予想につきましては随時見直しを行い、開示ルールに従って公表してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,413,627	3,481,088
売掛金	669,371	617,870
未収入金	562,159	657,623
営業投資有価証券	51,148	33,210
その他	76,076	72,597
貸倒引当金	△13,298	△9,576
流動資産合計	4,759,085	4,852,812
固定資産		
有形固定資産	73,070	80,235
無形固定資産	53,215	48,446
投資その他の資産		
投資有価証券	50,991	78,349
その他	174,038	147,021
貸倒引当金	△1,485	△1,054
投資その他の資産合計	223,544	224,316
固定資産合計	349,830	352,998
資産合計	5,108,916	5,205,811
負債の部		
流動負債		
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	648	314
未払金	513,835	469,054
預り金	1,027,633	1,102,938
その他	306,565	294,353
流動負債合計	1,948,682	1,966,660
固定負債		
その他	33,007	33,014
固定負債合計	33,007	33,014
負債合計	1,981,690	1,999,674

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,688,567	2,688,567
資本剰余金	2,615,484	2,615,484
利益剰余金	△2,198,107	△2,106,699
自己株式	△120	△120
株主資本合計	3,105,823	3,197,231
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,052	8,607
その他の包括利益累計額合計	21,052	8,607
新株予約権	350	298
純資産合計	3,127,226	3,206,136
負債純資産合計	5,108,916	5,205,811

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2019年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年10月1日 至2020年12月31日)
売上高	2,342,411	1,818,033
売上原価	1,491,588	1,000,011
売上総利益	850,822	818,021
販売費及び一般管理費	871,843	710,207
営業利益又は営業損失(△)	△21,020	107,813
営業外収益		
預り金失効益	7,055	12,651
その他	12,239	3,137
営業外収益合計	19,295	15,788
営業外費用		
持分法による投資損失	-	3,835
為替差損	-	1,975
その他	2,688	217
営業外費用合計	2,688	6,028
経常利益又は経常損失(△)	△4,413	117,573
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△4,413	117,573
法人税等	8,156	26,165
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△12,569	91,407
非支配株主に帰属する四半期純利益	693	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△13,263	91,407

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△12,569	91,407
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	81	△12,445
その他の包括利益合計	81	△12,445
四半期包括利益	△12,488	78,962
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△13,182	78,962
非支配株主に係る四半期包括利益	693	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(税金費用の計算方法の変更)

従来、当社及び連結子会社の税金費用につきましては、原則的な方法により計算しておりましたが、当社及び連結子会社の四半期決算業務の一層の効率化を図るため、当第1四半期連結会計期間より連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法に変更しております。

なお、この変更による影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に伴う会計上の見積りに関して)

新型コロナウイルス感染症の影響に関して、同感染症の今後の広がり方や収束時期等を正確に予測することは困難な状況にあります。

現時点において、将来キャッシュ・フロー及び将来の事業環境等の予測にあたって同感染症は、一定の影響を及ぼすものの、限定的であると判断しております。また、固定資産の減損や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りに関して、重要な影響を与えるものではないと判断しております。

しかしながら、今後の状況の変化によっては、連結財務諸表に影響を与える可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額
	マッチング	ビジネス 向けSaaS	計			
売上高						
(1)外部顧客への売上高	1,535,858	16,214	1,552,073	790,338	-	2,342,411
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	14	45	59	-	△59	-
計	1,535,872	16,259	1,552,132	790,338	△59	2,342,411
セグメント利益又は損失 (△)	△27,207	△6,762	△33,969	13,007	△59	△21,020

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、受託事業及び投資育成事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額
	マッチング	ビジネス 向けSaaS	計			
売上高						
(1)外部顧客への売上高	1,795,317	22,517	1,817,834	198	-	1,818,033
(2)セグメント間の内部売 上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	1,795,317	22,517	1,817,834	198	-	1,818,033
セグメント利益又は損失 (△)	155,865	△48,234	107,631	182	-	107,813

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、投資育成事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度より、従来「その他」に含まれていた「ビジネス向けSaaS事業」について、量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

また、当社グループでは、「オンライン人材マッチング」へ注力するため、前連結会計年度においてマッチング事業への集中を図る組織体制への変更及び当社連結子会社であった株式会社電縁及びアイ・オーシステムインテグレーション株式会社の売却等を行いました。受託事業につきましては、連結子会社の売却等により当該報告セグメントを構成するすべての事業セグメントが消滅したため、当第1四半期連結累計期間より「その他」に含めて表示する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。前第1四半期連結累計期間の「その他」の内、受託事業に係る金額は(1)外部顧客への売上高766,935千円、(2)セグメント間の内部売上高又は振替高一千円、売上高合計766,935千円、セグメント利益11,479千円となっております。

(重要な後発事象)

(連結子会社の吸収合併)

当社は、2020年11月13日開催の取締役会において、2021年1月1日を効力発生日として、当社の完全子会社である株式会社ビズアシ及び株式会社gravieeを吸収合併することを決議し、2021年1月1日付で吸収合併いたしました。

(1) 合併の目的

当社は2021年9月期の経営方針に基づき、コア事業であるマッチング事業の成長に集中するべく、事業シナジーの強化及び経営効率の改善を目的として、当社100%出資子会社である株式会社ビズアシ及び株式会社gravieeを吸収合併することといたしました。

(2) 合併の要旨

①企業結合日

2021年1月1日

②企業結合の法的形式

当社を吸収合併存続会社、株式会社ビズアシ及び株式会社gravieeを吸収合併消滅会社とする吸収合併方式

③合併に係る割当ての内容

当社完全子会社の吸収合併であるため、本合併による新株式の発行及び金銭等の交付は行いません。

④合併に伴う新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません。

(3) 被合併法人の概要 (2020年12月31日現在)

名称	株式会社ビズアシ	株式会社graviee
事業内容	オンラインアシスタントのマッチング事業	ヒューマンリソース事業
所在地	東京都渋谷区恵比寿4-20-3 恵比寿ガーデンプレイスタワー6階	東京都品川区西五反田8-7-11 アクシス五反田ビル502号
代表者の役職・氏名	代表取締役 奥野 清輝	代表取締役 大類 光一
資本金の額	100,000千円	7,000千円
純資産の額	25,930千円	107,145千円
総資産の額	150,272千円	156,032千円
売上高の額	195,364千円	103,734千円
当期純利益	15,593千円	6,106千円

(4) 合併後の状況

本合併後の当社の名称、所在地、代表者の役職・氏名、事業内容、資本金、決算期について変更はありません。

(5) 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成31年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成31年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として処理いたします。

(6) その他

当社は、上記の吸収合併により、2021年9月期第2四半期より、従来の連結決算から非連結決算への移行を予定しております。なお、非連結決算移行により、抱合せ株式消滅差益15,593千円、抱合せ株式消滅差損22,011千円の計上を見込んでおります。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。